| 科目名 | 生命倫理 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語科目 | | ナンバリング | AFbas201 AIbas201 | | | | |
| 開講期 | 春学期 | 開講学部等 | 生命科学部 | 配当年次 | ２年次 | 単位数 | ２単位 |
| 教員名 | 前田 秋彦 | | | | | | |

## 授業概要／Course outline

科学の進歩は目覚ましく，その技術がもたらした人間活動への恩恵は多大である。しかし，その技術を応用し利用していく中で私達が克服しなければならない数々の倫理上の問題が附随して現れてきた。これらの生命倫理上の諸問題を考えていくためには，生物学をはじめ，医学，獣医学，社会学，法学や哲学等に至る総合的な知識が必要である。本講議では，医学や獣医学における基礎的知識（遺伝子操作や臓器移植、性の決定等）を正しく理解するとともに，私たちの生活でそれを応用し利用していく中で発生した倫理上の諸問題（クローン動物（人間），脳死、性同一性障害等）について，数々の事例を通して考察していく。

## 授業形態，授業方法等／Course form・type

【授業形態】
 対面授業
【授業方法】
 講義
 ・実務経験のある教員による授業
  生命倫理・科学倫理と深く関わってきた教員により、「科学」における倫理教育の重要性について講義する

## 授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回　テーマ：「生命倫理」とは何か？
本講義の概要とスケジュールを確認し，講義の到達目標や身に付く力について説明する。本講義では，「生命倫理」とは何かについて解説し，私たちが生活していく上で何故「生命倫理」が必要であるのかについて議論する。

第2回　テーマ：「生」の倫理学1（出生の技術、性の決定,不妊治療）
　生殖技術の進歩により,人が生まれる場面で生命倫理上の重要な問題が発生している。本講義では、出生の技術、性の決定,不妊治療に関する具体的な事例を通して,生殖医療の問題点について議論する。

第3回　テーマ：「生」の倫理学2（優生学,人工妊娠中絶）
　生殖技術の進歩により,人が生まれる場面で生命倫理上の重要な問題が発生している。本講義では、優生学,人工妊娠中絶に関する具体的な事例を通して,生殖医療の問題点について議論する。

第4回　テーマ：「生」の倫理学3（クローン人間とクローン動物）
　近年，私たちの遺伝子についての知識は飛躍的に増大し，その医療への応用が期待されている。しかし、ここでも様々な倫理上の問題が発生している。本講義では，「クローン」の問題について議論する。特に，クローン動物の有用性とその問題点，クローン人間作製の是非について考察する。

第5回　テーマ：「成長」の倫理学（遺伝病、遺伝子治療等）
　第3回の講義に引き続き，遺伝子研究の倫理的問題点について議論する。本講義では，各種の「遺伝病」について解説するとともに，その治療法である「遺伝子治療」の技術的問題と倫理上の問題について議論する。

第6回　テーマ：「成長」の倫理学（社会性の形成、自己決定論）
　人は成長にともない社会性を身に付けていく。その過程で，自分のことは自分で決定する（自己決定）ことが社会的に求められる。医療の現場においても，自分のことは自分で決めること（自己決定）が重要である。本講義においては、「自己決定」の意義と問題について議論する。

第7回　テーマ：「性」の倫理学（ジェンダー、性同一性障害等）
　「性」には，生物学的な意味での「Sex」と，社会的に形成される「Ｇｅｎｄｅｒ（ジェンダー）」がある。人はその発育過程において，性別に合わせた役割を教育される。多様な性のあり方を議論できる今日，ジェンダーや性同一性障害等の問題を考えていけば良いのだろうか。本講義では，「性」の問題について議論する。

第8回　テーマ：「病気」の倫理学１（インフォームドコンセント、テーラーメード医療）
　現代医療においては，主体は患者である。患者は自分が受ける医療行為について，予め理解し，治療者である医師の治療に同意しなければならない。また近い将来，遺伝子診断に基づいた個別治療（テーラーメード医療）が提案されるかもしれない。新しい治療においても，私たちは自分が受ける治療については自分で選択することが求められる。本講義では，これらの問題について議論する。

第9回　テーマ：「病気」の倫理学２（感染症）
　実際の医療の現場で倫理的に問題となった具体的な事例として，生命倫理学の確立の原因となった「感染症」の問題を取り上げる。特に、感染症に係る差別の問題について考えていく。

第10回　テーマ：「病気」の倫理学３（輸血拒否）
医療における人権の問題を講義の題材とする。宗教上の輸血拒否やインフォームドコンセントを踏まえた医療行為の倫理上の具体的諸問題について考察する。

第11回　テーマ：「Quality of Life（QOL）」の倫理学（老化と介護）
　人は誰しも「老い」て、「死」を迎えることになる。「死」に近づくにつれ（老化）、それに伴う「介護」上の問題が重要となっている。私たちは介護される側であれ、する側であれ、様々な問題を抱えることになる。今回の講義では「死」を見つめたQOLについて考える。

第12回　テーマ：「死」の倫理学１（安楽死、尊厳死）
　生命倫理における，重要なテーマの一つである「死」のなかで，本講義では「安楽死」と「尊厳死」について議論する。「安楽死」と「尊厳死」の定義や，それらが可能な法律学上の条件について，実例を通して考える。

第13回　テーマ：「死」の倫理学２（脳死と臓器移植）
生命倫理における，重要なテーマの一つである「死」のなかで，本講義では「脳死」について議論する。「脳死」は，死であると考えてきた「心臓死」と，如何に違うのか？また，なぜ「脳死」という概念が必要になってきたのか？について議論する。さらに，脳死に関連する「臓器移植」についての倫理上の問題についても考察する。

第14回　テーマ：「戦争」の倫理学（バイオテロリズム、生物兵器）
　戦争やテロリズにムおける微生物の利用の歴史と問題点について紹介し、「戦争」の中での医療行為のあり方について議論する。

第15回　テーマ：「環境」の倫理学と、「動物」の倫理学（動物の権利と福祉）
　私たちは宇宙船「地球号」の住民である。現在の私たちは、将来の地球の住民に対して責任はあるのか？また、地球には私たち以外にも、多くの動物が存在する。彼らには、どのような権利があるのか？今回は、未来の地球を考える。

## 準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

本講義で取り上げる話題（ニュース）や書籍に興味・関心を持ち講義に参加する。また、毎回の講義内容を十分理解した上で次回講義に臨むこと。講義の理解が十分でないと感じる場合は必ず復習すること。

第1回　テーマ：「生命倫理」とは何か？
　[事前学習]生命倫理に関するニュースや新聞を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第2回　テーマ：「生」の倫理学1（出生の技術、性の決定、不妊治療）
　[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第3回　テーマ：「生」の倫理学2（優生学,人工妊娠中絶）
　[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第4回　テーマ：「生」の倫理学3（クローン人間とクローン動物）
　[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第5回　テーマ：「成長」の倫理学（遺伝病、遺伝子治療等）
　[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第6回　テーマ：「成長」の倫理学（社会性の形成、自己決定論）
　[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
　[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第7回　テーマ：「性」の倫理学（ジェンダー、性同一性障害等）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第8回　テーマ：「病気」の倫理学１（インフォームドコンセント、テーラーメード医療）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第9回　テーマ：「病気」の倫理学２（感染症）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第10回　テーマ：「病気」の倫理学３（輸血拒否）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第11回　テーマ：「Quality of Life (QOL)」の倫理学（老化と介護）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第12回　テーマ：「死」の倫理学１（安楽死、尊厳死）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第13回　テーマ：「死」の倫理学２（脳死と臓器移植）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第14回　テーマ：「戦争」の倫理学（バイオテロリズム、生物兵器
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

第15回　テーマ：「環境」の倫理学と「動物」の倫理学（動物の権利と福祉）
[事前学習]参考書等で，本講義に関連する項目を読んでおくこと（90分）。
[事後学習]講義内で配布したプリントの内容を理解し，まとめておくこと（90分）。

## 授業の到達目標／Expected outcome

生命科学の進歩にともなう技術革新と、私たちの生活の場面で新たに生まれた倫理上の様々な問題を考える上での基礎知識を修得するとともに、今後生じるであろう問題について自ら考えることができるようになること。

## 身につく資質・能力／Competencies to be attained

・倫理性

専門知識・専門技能
【生命科学部 先端生命科学科】
・生命科学の基盤的知識
・生命科学的思考力
・生命倫理観
【生命科学部 産業生命科学科】
・生命科学の基礎知識
・生命科学の視点からの課題解決能力
・生命倫理観

## 履修上の注意／Special notes, cautions

本講義では、各自の考えを表現することが重要であり、講義中の意見発表やレポートを重視する。積極的に自分の意見を発信すること！

## 評価方法／Evaluation

レポート（70～80%）および平常点（講義や課題に取り組む姿勢など）（20～30%）により評価する。

評価の具体的な指標は、以下の通りである。
・生命倫理上の様々な問題を考える上での基礎知識を修得できていること。

・生命倫理上の様々な問題について自ら考えることができること。

## 教　材／Text and materials

・教科書：　なし。
・参考書等：星野一正『医療の倫理』（岩波新書、ISBN4-00-430201-3）
塩野寛ら『生命倫理への招待』（南山堂、ISBN978-4-525-52013）
伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』（名古屋大学出版会、ISBN978-4-8158-0599-9）等

## 質問や相談の方法／Instructor contact

オフィスアワーを設定しております。質問や相談がある場合はご利用ください。
時間：金曜日3限（13:15～14：45）
場所：15号館2階15218室

あるいは、メール（amaeda@cc.kyoto-su.ac.jp）で、お問居合わせ下さい。